

レジメン名	GCS
対象疾患	胆道癌
1クールの日数	14日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	ゲムシタビン	GEM	1000	mg/m <sup>2</sup>	div	30分	d1
2	シスプラチン	CDDP	25	mg/m <sup>2</sup>	div	1時間	d1
3	エスワン	S-1	下記参照		po		d1夕～d8朝
4							
5							
6							
補足	エスワンの1日量…1.25m <sup>2</sup> 未満：80mg 1.25m <sup>2</sup> 以上1.5m <sup>2</sup> 未満：100mg 1.5m <sup>2</sup> 以上：120mg (最高75mg/回、最低40mg/回)						

催吐リスク	中等度
前投薬	パロノセトロン注0.75mg、デカドロン注4.95mg、プロイメンド注150mg
減量規定	ゲムシタビン：白血球数2,000/mm <sup>3</sup> 未満、または血小板数が70,000/mm <sup>3</sup> 未満で投与延期し、骨髄機能が回復後、適宜減量し再開 エスワン：腎障害（Ccr60以上80未満；必要に応じて1段階減量、Ccr30以上60未満；1段階以上の減量、30～40未満は2段階減量が望ましい）
主な副作用	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、倦怠感、発疹、末梢神経障害、腎機能障害、聴力障害、口内炎、味覚異常、下痢、色素沈着、流涙
参考文献	適正使用ガイド（ゲムシタビン、ティーエスワン） 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）
その他	ゲムシタビン：30分かけて点滴静注を行う（60分以上かけて行うと副作用が増強した報告あり）

投与スケジュール

Day ( 1 )			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 ソリタT1号輸液500mL  1日1回 (持続)	2本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 パロノセトロン注バッグ0.75mg デカドロン注1.65mg	1本 3本	15分
3	点滴末梢 メイン1側管1 ソリタT1号輸液500mL メトクロプラミド注  1日1回	1本 2本	90分
4	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液100mL プロイメンド注150mg  1日1回 ソリタT1+メトクロプラミド注投与30分後から注入	1本 1本	30分
5	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL シスプラチン注  1日1回	1本 25mg/m <sup>2</sup>	1時間
6	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液100mL ゲムシタビン注  1日1回	1本 1000mg/m <sup>2</sup>	30分
7	点滴末梢 メイン1側管1 ソリタT3号輸液500mL フロセミド注20mg  1日1回	1本 1本	90分